



環境マネジメント

● グローバル環境マネジメント

環境経営推進体制

矢崎グループは、世界各地のステークホルダーの皆様からの環境保全に関するご期待やご要望に確実に対応するため、グローバルにおいて環境マネジメント体制を構築し、運用しています。

毎年5月には矢崎社長を委員長とする「矢崎環境委員会」を開催し、環境経営に関する審議決定機関として、国内外における課題について審議を行います。矢崎環境委員会での審議事項は「グローバル環境会議」において、世界各地域の環境責任者や環境実務担当者と共有し、課題解決に向けて整合しています。さらに世界の各拠点を米州、欧州・アフリカ、中華圏、豪亜および日本の5地域に区分し、各地域の法律や文化・慣習などを考慮した環境管理体制を構築しています。日本国内においては、製品環境委員会、工場環境委員会を設けて、各分野の課題や対応方針を検討するとともに、「環境情報委員会」にて関連するすべての部署が連携できるよう、全社的な取り組みについて検討しています。

世界各地域における環境管理体制



米州環境委員会における工場見学の様子

グローバルでの課題達成に向けて

「グローバル環境会議」では、地域間の連携を図りながら環境保全活動を推進するために、気候変動の緩和や化学物質管理など、グローバルで対処すべき重要テーマを共有し、その対応を協議しています。2015年度は、「矢崎環境取り組みプラン」と「環境保証体制の充実」をテーマに、理解を共有し、活動内容について検討しました。

2015年度の環境委員会開催状況

地 域	開催日
米 州	2015年 7月14日～15日
欧州・アフリカ	2016年 5月31日～6月2日
中華圏	2016年 1月26日～27日
豪 亜	1回目 2015年 11月24日 2回目 2016年 5月31日
日 本	2015年 5月12日
グローバル環境会議	1回目 2015年 7月20日～21日 2回目 2016年 3月18日

グローバル環境監査

矢崎グループは国内外の事業所においてISO14001認証に基づく環境マネジメントシステムを構築・運用しています。2016年6月時点で、生産拠点を中心に241拠点が取得しています。

また、国内の生産拠点、支店、オフィスおよび海外の生産拠点において環境監査を定期的実施しています。2015年度は、米州17拠点、欧州・アフリカ17拠点、豪亜2拠点、中華圏5拠点、日本30拠点において実施しました。

とくに中華圏では、生産事業所2拠点において化学物質管理状況の確認および環境法令監査を実施しました。このなかでは監査員による現地確認のほか、取引先様との契約書内容の確認などを行いました。不足点については反省し、改善を進めています。



現地確認の様子

生物多様性保全の取り組み

地球上には森や里、川、海などの自然と、多くの生き物が暮らしています。それらはそれぞれ役割をもち、お互いがつながり、支え合って生きています。そして、私たちの企業活動や暮らしは、さまざまな自然がもたらす恵みによって支えられています。しかし、今、これらが急速に失われており、企業は生物多様性に考慮した事業を進めることや新たな共生関係をつくり出す工夫や努力が求められています。

矢崎グループでは、地域・事業所の文化や慣習に考慮しながら、生物多様性の保全に向けた取り組みを推進し、さらにそれらをグローバルで共有することで、活動が継続されている状態をめざしています。

できるよう、スキル確保を目的として各種業務の業務責任者および担当者を対象に実施しています。

環境教育受講者数(2015年度)

区分	対象	受講者(名)
全社 共通教育	新入社員環境研修	109
	新任リーダー環境研修	100
	新任責任者環境研修	32
	海外出向前環境研修	161
	小計	402
環境 専門教育	化学物質管理担当者研修	6,076
	環境法令管理者・担当者研修	5,877
	ISO14001:2015規格差分習得研修	153
	小計	12,106
合計		12,508

● 国内における環境マネジメント

環境教育

環境保全について、自ら考え、行動できる人づくりをめざして、矢崎グループの教育体系に基づき「全社共通教育」と「環境専門教育」を実施しています。

全社共通教育は、管理職や海外出向予定者などを対象に、環境保全の重要性の理解と、矢崎グループが取り組んでいる環境保全活動の共有を目的として実施しています。

環境専門教育は、環境にかかわる専門的な業務を遂行



教育の様子

Topics

高知県梼原町における地域協働の森づくり 生物多様性の取り組み

高知県梼原町と梼原町森林組合と協働で、「木質バイオマス地域循環モデル事業」を2005年から推進しています。

また、梼原町にある九十九曲峠を「矢崎の森」として協働整備を行っています。毎年4月29日(昭和の日)には矢崎の森で「森林ボランティア協働の森づくり」を実施しています。

2015年度は、矢崎グループから約120名が参加し、慣れない手つきながらも間伐作業に汗を流しました。参加者からは、間伐を行ったことで森林に光が差し込み、明るい森に変わったという感想が寄せられました。さらに、矢崎の森に続くセラピーロードを散策し、環境保全

の意識を高めることができました。また、多くの参加者が現地の農家民宿に宿泊し、梼原町の方たちと親睦を深めました。



参加者の集合写真



間伐の様子